



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー

コード番号 4922 URL <http://www.kose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	149,308	8.8	15,970	16.9	18,294	12.7	9,933	13.7
26年3月期第3四半期	137,291	7.8	13,667	55.7	16,232	62.2	8,736	76.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 11,744百万円 (8.8%) 26年3月期第3四半期 10,796百万円 (93.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	174.13	—
26年3月期第3四半期	153.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	194,126	141,695	68.2	2,321.79
26年3月期	186,274	132,810	67.0	2,188.59

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 132,447百万円 26年3月期 124,850百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	21.00	—	27.00	48.00
27年3月期	—	27.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	201,000	5.8	19,700	4.0	20,500	△4.7	11,000	△1.2	192.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（平成27年1月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、四半期決算短信（添付資料）4 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	60,592,541株	26年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	3,547,282株	26年3月期	3,546,758株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	57,045,512株	26年3月期3Q	57,046,468株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)

事業区分	前第3四半期 累計		当第3四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品	99,774	72.7	108,675	72.8	8,901	8.9
コスメタリー	36,282	26.4	39,368	26.4	3,086	8.5
その他	1,234	0.9	1,264	0.8	29	2.4
売上高計	137,291	100.0	149,308	100.0	12,017	8.8

区分	前第3四半期 累計		当第3四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	13,667	10.0	15,970	10.7	2,303	16.9
経常利益	16,232	11.8	18,294	12.3	2,062	12.7
四半期純利益	8,736	6.4	9,933	6.7	1,196	13.7

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)における日本経済は、基調的には緩やかな景気回復の動きが続いた一方で、消費税増税や円安による物価上昇等を背景とした消費者の買い控えなど、一部に弱さも見られました。化粧品業界におきましては、平成26年度11月までの経済産業省化粧品出荷統計(暦年)によりますと、販売個数・販売金額ともに前年同期と比べ増加しました。

このような市場環境の中、当社グループは、「成長ドライバーへの注力」、「基幹ブランド事業の収益性拡大」、「経営基盤の強化」の3つを基本方針に掲げ、全社一丸となって新たな成長軌道に乗せる「攻めの改革」を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、消費税率引き上げ前の駆け込み需要に伴う反動減の影響を第1四半期でほぼ吸収し、インバウンドも含めた国内需要を効果的に取り込んだことに加え、平成26年4月に買収した米国の化粧品販売会社Tarte, Inc.の業績が計画を上回る進捗となった結果、売上高が全ての事業セグメントで前年を上回り、前年同期比8.8%増の149,308百万円(為替の影響を除くと前年同期比8.1%増)となり、過去最高となりました。

利益につきましては、積極的な広告宣伝・販売促進活動を展開したことによる増収効果及び原価低減等により、営業利益は15,970百万円(前年同期比16.9%増)となりました。また、経常利益は為替の影響もあり18,294百万円(同12.7%増)、四半期純利益は9,933百万円(同13.7%増)となりました。

化粧品事業につきましては、国内では、高級化粧品を扱う(株)アルビオンの業績が大幅に伸長したほか、機能性の高い新製品投入や各種プロモーションを強化した「雪肌精」と「エスプリーク」が好調に推移しました。海外では、既存の海外子会社が収益性改善に向けた構造改革の過程にあるものの、買収後も順調に成長を続けている米国の化粧品販売会社Tarte, Inc.の業績が寄与し、海外全体の売上高が増加しました。これらの結果、当事業の売上高は108,675百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は14,937百万円(同22.2%増)となりました。

コスメタリー事業につきましては、テレビCMを中心とした積極的な広告宣伝費の投下により、コーセーコスメポート(株)の主要ブランドをはじめ、セルフメイクブランドの「ヴィセ」や「エルシア」の売上が拡大しました。また、コンビニエンス向けブランドも引き続き好調に推移したこともあり、売上高は39,368百万円(同8.5%増)、営業利益は3,422百万円(同5.7%減)となりました。

その他の事業につきましては、売上高は1,264百万円(同2.4%増)、営業利益は511百万円(同5.0%減)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月31日に発表しました通期連結業績予想について、下記の通り修正いたします。

売上高につきましては、国内は販売費の積極的な投資やインバウンド需要の追い風もあって順調に推移しており、また海外では買収した米国の化粧品販売会社Tarte, Inc. が好調な状況が続くなど、前回発表予想を上回り過去最高となる見込みです。

利益につきましても、売上増収や円安効果等により、予想を上回る水準を確保できる見込みです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 193,000	百万円 19,000	百万円 19,300	百万円 10,200	円 銭 178.80
今回修正予想(B)	201,000	19,700	20,500	11,000	192.83
増減額(B-A)	8,000	700	1,200	800	—
増減率(%)	4.1	3.7	6.2	7.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	190,049	18,934	21,501	11,132	195.15

## 平成27年3月期(通期)の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

事業区分	平成26年3月期		平成27年3月期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品	139,527	73.4	147,000	73.1	7,472	5.4
コスメタリー	48,914	25.7	52,200	26.0	3,285	6.7
その他	1,606	0.9	1,800	0.9	193	12.0
売上高計	190,049	100.0	201,000	100.0	10,950	5.8

区分	平成26年3月期		平成27年3月期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	18,934	10.0	19,700	9.8	765	4.0
経常利益	21,501	11.3	20,500	10.2	△1,001	△4.7
当期純利益	11,132	5.9	11,000	5.5	△132	△1.2

※主要な為替レートにつきましては、106円/米ドル、3.5円/台湾ドル、17.2円/中国元を想定しています。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、Tarte, Inc. は第1四半期連結会計期間より、株式を取得し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び、支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	50,798	42,460
受取手形及び売掛金	31,245	28,894
有価証券	10,482	9,235
金銭の信託	12,000	9,000
商品及び製品	9,941	14,596
仕掛品	1,299	2,117
原材料及び貯蔵品	8,563	12,495
繰延税金資産	4,643	3,417
その他	1,682	1,962
貸倒引当金	△264	△303
流動資産合計	130,391	123,876
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	29,792	30,073
減価償却累計額	△18,433	△18,932
建物及び構築物(純額)	11,359	11,141
機械装置及び運搬具	12,896	13,010
減価償却累計額	△11,101	△11,204
機械装置及び運搬具(純額)	1,794	1,805
工具、器具及び備品	31,201	32,488
減価償却累計額	△26,859	△28,054
工具、器具及び備品(純額)	4,341	4,434
土地	17,015	17,023
リース資産	1,198	1,273
減価償却累計額	△608	△743
リース資産(純額)	589	530
建設仮勘定	316	932
有形固定資産合計	35,417	35,867
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	1,547	1,488
のれん	—	9,712
その他	3,130	9,355
無形固定資産合計	4,677	20,556
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	6,654	5,663
繰延税金資産	6,372	5,339
その他	2,925	2,984
貸倒引当金	△164	△162
投資その他の資産合計	15,788	13,825
固定資産合計	55,883	70,249
資産合計	186,274	194,126

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,879	8,934
電子記録債務	2,146	10,548
短期借入金	771	600
リース債務	178	149
未払金	7,741	6,209
未払費用	8,183	4,646
未払法人税等	5,912	1,444
未払消費税等	1,289	2,030
返品調整引当金	2,047	1,755
その他	727	2,111
流動負債合計	39,877	38,431
固定負債		
リース債務	436	429
役員退職慰労引当金	3,179	1,967
退職給付に係る負債	9,609	8,256
繰延税金負債	—	2,985
その他	360	360
固定負債合計	13,585	13,999
負債合計	53,463	52,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,390	6,390
利益剰余金	118,070	124,922
自己株式	△9,079	△9,081
株主資本合計	120,229	127,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	763	1,120
為替換算調整勘定	1,653	2,122
退職給付に係る調整累計額	2,203	2,124
その他の包括利益累計額合計	4,620	5,367
少数株主持分	7,960	9,247
純資産合計	132,810	141,695
負債純資産合計	186,274	194,126

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	137,291	149,308
売上原価	33,258	36,007
売上総利益	104,032	113,301
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	8,330	10,208
販売促進費	27,261	29,318
運賃及び荷造費	5,052	5,560
給料及び手当	27,903	28,608
退職給付費用	946	970
法定福利費	4,143	4,516
減価償却費	1,834	2,042
その他	14,892	16,103
販売費及び一般管理費合計	90,365	97,330
営業利益	13,667	15,970
営業外収益		
受取利息	157	185
受取配当金	179	68
特許実施許諾料	38	47
有価証券償還益	711	76
為替差益	1,356	1,788
雑収入	174	179
営業外収益合計	2,616	2,345
営業外費用		
支払利息	25	3
支払手数料	6	11
雑損失	19	6
営業外費用合計	51	21
経常利益	16,232	18,294
特別利益		
固定資産売却益	5	2
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	5	4
特別損失		
固定資産処分損	73	120
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	1	—
事業整理損	199	—
その他	—	2
特別損失合計	275	122
税金等調整前四半期純利益	15,962	18,176
法人税、住民税及び事業税	4,897	4,824
法人税等調整額	1,613	2,373
法人税等合計	6,510	7,197
少数株主損益調整前四半期純利益	9,451	10,978
少数株主利益	714	1,045
四半期純利益	8,736	9,933

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,451	10,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	367	358
為替換算調整勘定	977	479
退職給付に係る調整額	—	△71
その他の包括利益合計	1,345	765
四半期包括利益	10,796	11,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,059	10,679
少数株主に係る四半期包括利益	737	1,064

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	99,774	36,282	136,056	1,234	137,291	—	137,291
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	508	508	△508	—
計	99,774	36,282	136,056	1,743	137,799	△508	137,291
セグメント利益	12,223	3,629	15,853	538	16,391	△2,724	13,667

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△20
各報告セグメントに配分していない全社費用	△2,704

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	欧米	計
120,852	16,035	402	137,291

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	108,675	39,368	148,044	1,264	149,308	—	149,308
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	553	553	△553	—
計	108,675	39,368	148,044	1,818	149,862	△553	149,308
セグメント利益	14,937	3,422	18,360	511	18,871	△2,901	15,970

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△4
各報告セグメントに配分していない全社費用	△2,896

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

「化粧品」セグメントにおいて、平成26年4月1日にTarte, Inc. が連結子会社となったことによるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては9,712百万円であります。

## 3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日 本	ア ジ ア	欧 米	計
127,663	16,442	5,202	149,308